

# 外付け型 ポータブルHDユニット オンラインガイド

このたびは弊社製外付け型HDユニットをお求めいただきまことにありがとうございました。  
 このオンラインガイドでは、ハードディスクのフォーマット方法をはじめ、製品の取り扱い方法についてガイドしています。  
 下のボタンから、ご参照になりたい項目をクリックしてください。

使用上のご注意

使用環境について

フォーマット（初期化）について

本製品搭載機能について

はじめに

シークレットドライブ機能について

省電力機能について

簡単アンプラグ機能について

CDドライブ認識設定機能について

Macintoshでの起動ディスクの設定  
 (IEEE1394接続時のみ)

USB補助電源ケーブルを使用する  
 際の注意点

ACアダプタを使用する際の注意点

故障かな？と思ったら

オプション品について

ハードウェア仕様

保証とサービスについて

## LHD-PHAU2シリーズをご使用の場合

- ・ 動作中のケーブルの抜き差しは絶対に行わないでください。不要なリセットや動作異常を招き、データが消失する恐れがあります。
- ・ 本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものを使用してください。USB 1.1 用ケーブルで USB 2.0 ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生することがあります。USB 1.1 ポートへ接続して使用する際もなるべく付属の USB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。
- ・ パソコン本体やインターフェースボード（カード）などの仕様によっては電源供給性能の問題からバスパワーで十分に動作しない場合があります。バスパワーで動作しない場合は、別売りの弊社製 AC アダプタ「LA-12W5S-02」または付属の USB 補助電源ケーブルをご使用ください。

## LHD-PHAFU2 シリーズをご使用の場合

- ・ 動作中のケーブルの抜き差しは絶対に行わないでください。不要なリセットや動作異常を招き、データが消失する恐れがあります。
- ・ 本製品をUSB 2.0ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものを使用してください。USB 1.1用ケーブルでUSB 2.0ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生することがあります。USB 1.1ポートへ接続して使用する際もなるべく付属のUSB 2.0対応ケーブルをご使用ください。
- ・ 本製品のIEEE1394 インターフェースとUSB インターフェースを両方同時に接続することはできません。
- ・ IEEE1394 はメーカーによって「FireWire」、もしくは「i.LINK」などと呼ばれることがありますが、すべて同じものをさします。本書の中では「IEEE1394」で呼称を統一します。
- ・ パソコン本体やインターフェースボード（カード）などの仕様によっては電源供給性能の問題からバスパワーで十分に動作しない場合があります。バスパワーで動作しない場合は、別売りの弊社製ACアダプタ「LA-12W5S-02」または付属のUSB補助電源ケーブルをご使用ください。

## 使用環境について

本製品の使用環境は、接続形態により異なります。ご使用になる接続形態の項目をクリックしてください。

USB 接続の場合

IEEE1394 接続の場合

## USB 接続の場合

製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合の使用条件は以下の通りです。 最近の情報は弊社 Web サイトをご参照ください。

### 対応パソコン

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のパソコン本体に接続可能です。すべてUSBポートを搭載している機種に限定されます。また、High-Speedでの転送を実現するためにはパソコン本体のインターフェースがUSB 2.0に対応していなければなりません。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	Mac mini
	eMac
	iBook、iBook G4
	iMac、iMac G5
	Power Mac G5
	Power Mac G4、Power Mac G4 Cube
	Power Macintosh G3 (Blue and White)
	PowerBook G4、PowerBook (FireWire)
	PowerBook G3 ( BronzeKeyboard )

### 対応 OS

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合には、以下の OS をご使用ください。すべて日本語版 OS のみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

#### マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition / Professional  
Windows Me  
Windows 98 (Second Edition 含む)  
Windows 2000 Professional

#### アップルコンピュータ社

Mac OS X 10.1 以降 ( )  
Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2 まで ( )

USB2.0 接続にてご使用の場合は、Mac OS X 10.2 以降となります。

## IEEE1394 接続の場合

製品を IEEE1394 インターフェースに接続する場合の使用条件は以下の通りです。 最近の情報は弊社 Web サイトをご参照ください。

### 対応パソコン

本製品を IEEE1394 インターフェースに接続する場合は、以下のパソコン本体に接続可能です。すべて IEEE1394 ポートを標準搭載している機種に限定されます。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	Mac mini
	iMac G5、iMac ( USB 2.0 )
	iMac ( Flat Panel )、iMac ( Early 2001 )
	iMac DV
	eMac
	Power Mac G5
	Power Mac G4、Power Mac G4 Cube
	iBook G4、iBook ( Late 2001 以降 )
	iBook ( Dual USB )、iBook ( FireWire )
	PowerBook G4
	PowerBook ( FireWire )

### 対応 OS

本製品を IEEE1394 インターフェースに接続する場合には、以下の OS をご使用ください。すべて日本語版 OS のみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

#### マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition / Professional  
Windows Me  
Windows 98 Second Edition ( 1 )  
Windows 2000 Professional

1 IEEE1394 アップデータ要導入  
Second Edition でない Windows 98 では使用できません。

#### アップルコンピュータ社

Mac OS X 10.1 以降  
Mac OS 9.1 ~ 9.2.2 まで

## フォーマット（初期化）について

ここではハードディスクのフォーマット方法について、ご使用の OS ごとにご説明いたします。  
参照したい OS のボタンをクリックしてください。

Windows 環境でフォーマットを行う場合

Macintosh環境でフォーマットを行う場合

### 注意！

フォーマットを行うと、それまでにハードディスク内に保存されていたデータは、全て消去されます。大切なデータは、必ず、あらかじめバックアップを取っておいてください。

### ポイント

本製品を Windows XP、2000 でご使用になる場合は、NTFS 形式で再フォーマットすることをお勧めします。NTFS は Windows 2000 から採用されたファイル形式で、データの信頼度が高く 4GB を超えるファイルを扱うことができます。ただし、NTFS 形式で再フォーマットした場合、Windows Me、98 ではご使用になれません。

## Windows 環境でフォーマットを行う場合

Windows 環境でフォーマットを行う場合は、「Logitech HD サポートツール」の「Format」画面より実行します。

本製品を接続し表示される「CD-ROM」アイコンをダブルクリックし、その中の「START.exe」をダブルクリックすると、「Logitech HD サポートツール」の「Format」画面が右のように表示されますので、ここで「フォーマット」ボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック



実行の画面に切り替わりますので、「フォーマットの開始」ボタンをクリックすると、フォーマットが実行されます。

Windows XP、2000の場合は、「NTFS形式」を選択することをお勧めします。  
なお、Windows Me、98では表示されません。

「フォーマットの開始」をクリック



### ポイント

「Logitech HD サポートツール」から、フォーマット用ソフトウェアをインストールして、フォーマットを行うこともできます。  
フォーマット用ソフトウェアのインストール方法、使用方法については右のボタンをクリックしてください。

CD-ROM からフォーマットソフトをインストールする場合



## CD-ROMからフォーマットソフトをインストールする場合

本オンラインガイドが収録されている「Logitech HD サポートディスク」(本製品内の「CD-ROM」ドライブに収録)には、ハードディスクを複数のパーティションに分けてフォーマットができる「Logitech ディスクフォーマッタ」が収録されています。「Logitech ディスクフォーマッタ」のインストール方法、使用方法については、下の項目をクリックしてください。

[ディスクフォーマッタのインストール方法](#)

[ディスクフォーマッタの使い方](#)

### 参考

- ・ 各OSに標準搭載のフォーマット機能を使用してフォーマットを行う場合は、ご使用のOSのオンラインヘルプ等をご参照ください。

## ディスクフォーマッタのインストール方法

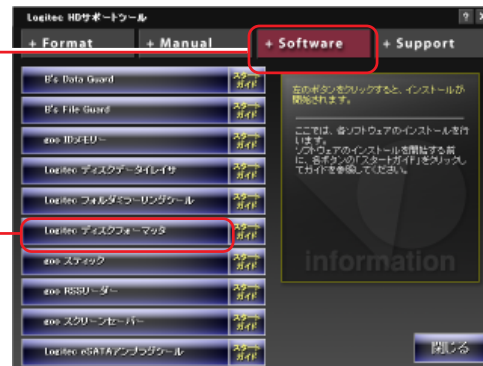
「Logitech ディスクフォーマッタ」のインストールは、本製品を接続し表示される「CD-ROM」アイコンをダブルクリックし、その中の「START.exe」をダブルクリックして表示される「Logitech HD サポートツール」の画面より、

「Software」タブを選択し、

ソフトウェアの一覧から、「Logitech ディスクフォーマッタ」のボタンをクリックしてください。

1. Software タブをクリック

2. 「Logitech ディスクフォーマッタ」  
ボタンをクリック



自動的に、セットアップウィザードが起動しますので、この後はウィザードの指示に従ってインストールを進めてください。

## ディスクフォーマッタの使い方

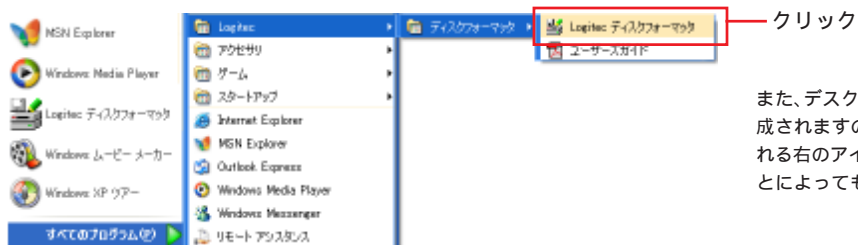
ハードディスクを複数のパーティションに分割して使用する場合、「Logitec ディスクフォーマッタ」を使用します。フォーマット手順は以下をご参照ください。

はじめに、本製品をパソコンに接続してください。

誤って他のハードディスクをフォーマットしないよう、本製品以外の外付け型ハードディスクは全て取り外しておきます。また、内蔵のハードディスクが複数ある場合、誤ってフォーマットしないようあらかじめ、ドライブ名を確認して、フォーマットの際に選択しないようにしてください。

「Logitec ディスクフォーマッタ」を起動します。

「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「(すべての)プログラム」 「Logitec」 「ディスクフォーマッタ」とポイントして、「Logitec ディスクフォーマッタ」をクリックしてください。(デフォルトの状態ですべてインストールした場合)



また、デスクトップにショートカットが作成されますので、デスクトップ上に表示される右のアイコンをダブルクリックすることによっても起動可能です。



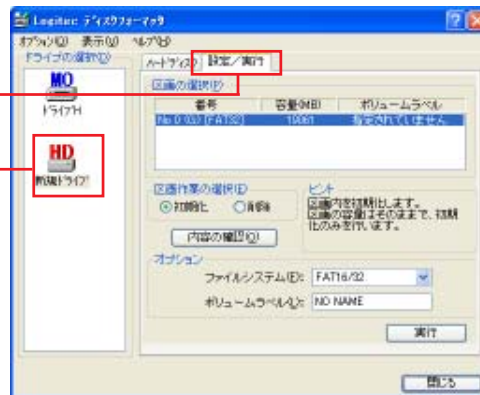
### ポイント

- ・「Logitec ディスクフォーマッタ」の詳細な使用方法については、「Logitec ディスクフォーマッタ」の「ユーザーズガイド」をご参照ください。

フォーマッタが起動したら、「ドライブの選択」リストで、分割してフォーマットを行うハードディスクを選択して、「設定/実行」タブをクリックしてください。

1. 選択

2. クリック



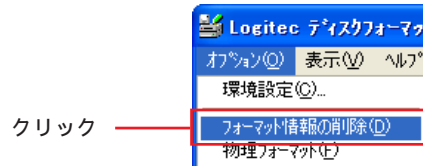
選択したハードディスクに関する情報が表示されます。

また、FAT32 ファイルシステムを使用したい場合は、「このドライブでFAT32 ファイルシステムを使用する」チェックボックスをチェックしてください。(このチェックボックスをチェックするためには、「オプション」メニューの「環境設定」でFAT32 ファイルシステムが使用できるように設定されていなければなりません。)

#### ご注意

- ・ 間違ったドライブを選択しないように十分ご注意ください。
- ・ フォーマットを行うと、ハードディスクに保存されているデータはすべて消去され、復旧することはできません。フォーマット対象のハードディスク内にデータが残っている場合、重要なデータはあらかじめバックアップをとっておいてください。

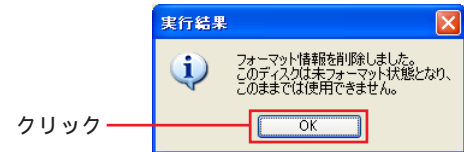
次にツールバーの「オプション」から「フォーマット情報の削除」をクリックしてください。



確認のメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックしてください。

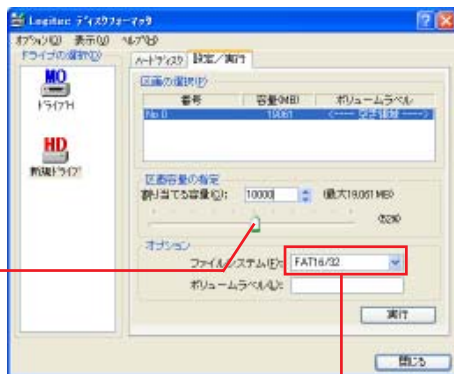


フォーマット情報の削除が行われ、終了すると以下のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



メインウィンドウに戻りますので「設定/実行」タブをクリックしてください。

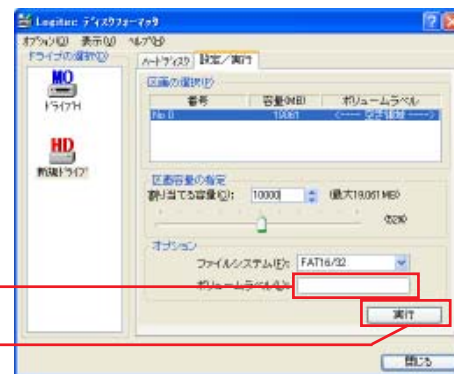
新規のハードディスクをフォーマットする場合は、すべての容量が「区画の選択」に「空き領域」として表示されます。ここからまず最初のドライブとなる区画の容量を指定します。「区画容量の指定」で「割り当てる容量」を入力するか、スライダをドラッグして容量を指定してください。



スライダ

Windows XP、2000 をご使用の場合は、ここでファイルシステムを「NTFS」にすることをお勧めします。

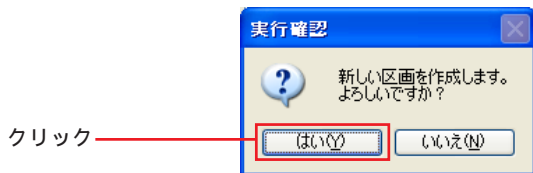
容量の指定が終了したら、最初のドライブとなる区画のフォーマットを行います。必要に応じて「ボリュームラベル」(ハードディスクの名前: 半角11文字以内/全角5文字以内の任意の文字列を入力可能)を入力し、「実行」ボタンをクリックしてください。



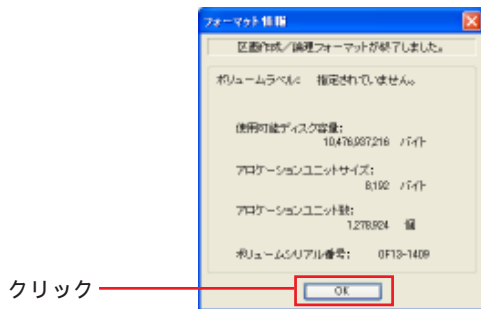
1. 入力

2. クリック

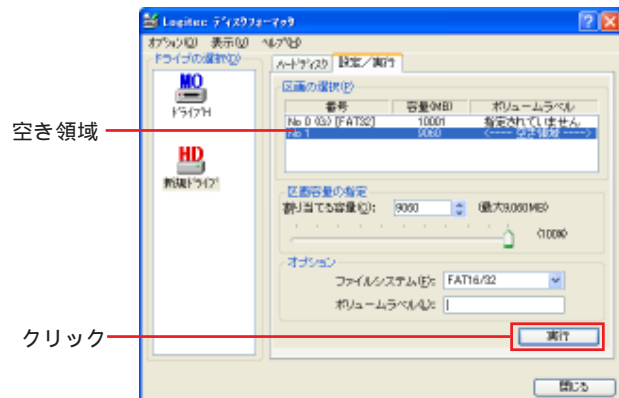
確認のメッセージが表示されます。フォーマットしてもよいことを確認してから、「はい」ボタンをクリックしてください。



最初のドライブとなる区画のフォーマットが実行されます。終了すると、以下のウィンドウが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。



メインウィンドウに戻ります。このドライブにはまだ「空き領域」が残っています。(下図の「区画の選択」の「No.1」を参照してください。)この空き領域は2番目のドライブとしてフォーマットすることができます。空き領域を2番目のドライブとしてすべてフォーマットする場合は、「区画容量の指定」は変更しないで、そのまま「実行」ボタンをクリックしてください。



もし、ハードディスクを3つ以上のドライブに分割する場合は、手順と同様に「区画容量の指定」で2番目のドライブの容量を指定してから、「実行」ボタンをクリックしてください。

～と同じ手順で2番目のドライブのフォーマットを実行してください。  
以上でフォーマットは終了です。

## Macintosh環境でフォーマットを行う場合

Macintosh 環境では、フォーマットは OS 標準の機能を使用します。  
それぞれの OS のフォーマット手順は、下の項目をクリックしてご参照ください。

参照したい項目をクリックしてください。

Mac OS Xでのフォーマット方法

Mac OS 9でのフォーマット方法

## ポイント

本製品を Macintosh 環境のみでご使用になる場合は、「Mac OS 拡張」形式にて再フォーマットすることをお勧めします。「Mac OS 拡張」形式は、大容量ハードディスクを Macintosh 環境で使用するのに最適なフォーマット形式です。ただし、「Mac OS 拡張」形式で再フォーマットした場合、Windows 環境からはアクセスできなくなります。



## Mac OS Xでのフォーマット方法

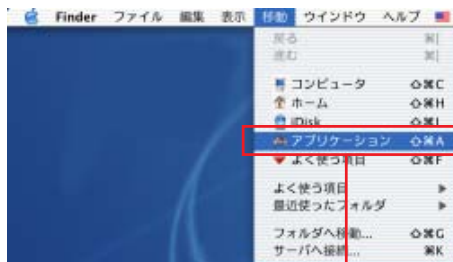
Mac OS Xでのハードディスクのフォーマット手順は、以下をご参照ください。

### フォーマット手順

ハードディスクのフォーマットにはMac OS X標準のフォーマットソフトウェア「ディスクユーティリティ (Disk Utility)」を使用します。

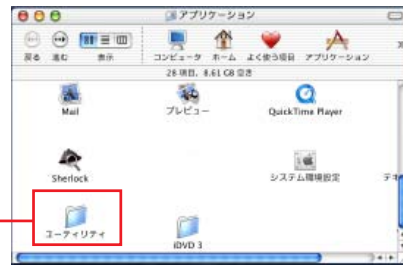
本製品をはじめて接続した際に、「今セットしたディスクはMac OS Xで読み込めないボリュームが含まれています。」というメッセージウィンドウが表示された場合は、ウィンドウ下部にある「初期化」ボタンをクリックして、手順へお進みください。

本製品を接続後、メニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択してください。



選択

「アプリケーション」ウィンドウが表示されます。ここで「ユーティリティ」フォルダをダブルクリックしてください。



ダブルクリック

「ユーティリティ」フォルダの一覧の中から、「ディスクユーティリティ」をダブルクリックしてください。



ダブルクリック

ディスクユーティリティ

### ポイント

- Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 の環境では、フォルダ名やウィンドウ名に「Application」、「Utilities」等、一部アルファベットが使用されています。

Mac OS Xの標準フォーマット「ディスクユーティリティ」が起動します。以下のように設定してフォーマットを行ってください。

1. 本製品のドライブ名を選択
2. 「消去」タブを選択
3. ボリュームフォーマットの欄で「Mac OS 拡張」を選択
4. 「名前」の欄に、本製品の名前を入力。（本製品がデスクトップにマウントされる際、ここに入力した名前が表示されるようになります）
5. 「消去」ボタンをクリック

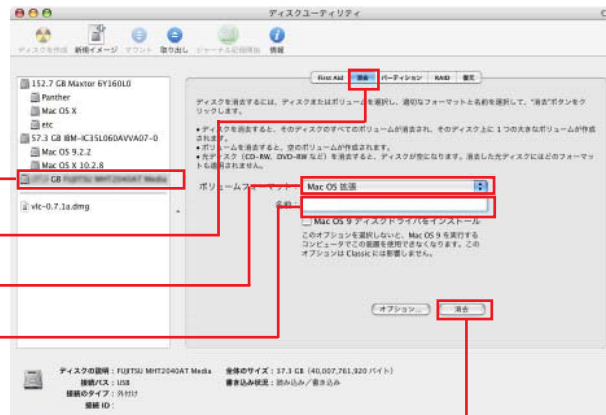
1. ドライブを選択

2. 「消去」タブをクリック

3. 「Mac OS 拡張」を選択

4. 名前を入力

5. 「消去」ボタンをクリック



確認のメッセージウィンドウが表示されますので「消去」ボタンをクリックしてください。フォーマットが実行されます。

！次ページの注意事項を必ずご参照ください。

#### ご注意

- ・すでにご使用の他のドライブを選択しないように十分ご注意ください。
- ・Mac OS 9環境でもご使用になる場合は、名前の下にある「Mac OS 9 ディスクドライバをインストール」のチェックボックスにチェックを入れてください。  
(但し、このチェックボックスはMac OS Xのみ搭載モデルの場合、表示されない場合があります。)

#### ポイント

- ・フォーマットは「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧Macと互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

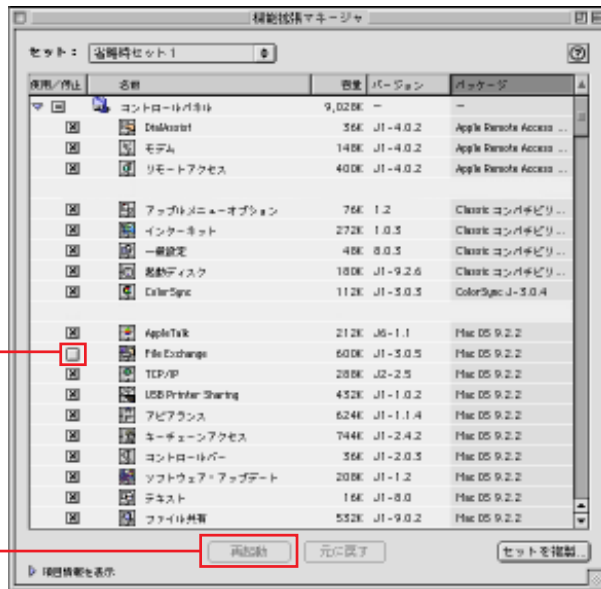
## Mac OS 9でのフォーマット方法

Mac OS 9でのハードディスクのフォーマット手順は、以下をご参照ください。

「アップル」メニューから「コントロールパネル」「機能拡張マネージャ」を開き、「File Exchange」を「停止」して、コンピュータを再起動してください。

1. このチェックをOFFにする事によって、機能が停止します

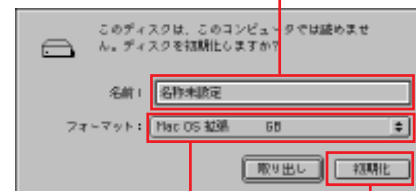
2. 「再起動」ボタンをクリック



パソコンが再起動後、本製品を接続すると「このディスクはこのコンピュータでは読めません。ディスクを初期化しますか?」というメッセージとともに初期化のウィンドウが表示されます。ここで、必要に応じて名前を入力し、フォーマット形式に「Mac OS 拡張」を選択し、「初期化」ボタンをクリックします。

「名前」を入力すると、本製品がデスクトップにマウントされる際、その名前が表示されるようになります。

1. 名前を入力



2. 「フォーマット形式」を選択

3. 「初期化」をクリック

初期化が終わったら、「File Exchange」を「ON」に戻しておきます。

### ポイント

- ・ フォーマット形式は「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧バージョンのMac OSと互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。
- ・ デスクトップ上の本製品のドライブアイコンをクリックし「特別」から「ディスクの初期化」をクリックしても、フォーマットを行うことは可能ですが、この方法で初期化を行う場合、「DOS ( FAT32 )」形式でフォーマットされているハードディスクはフォーマット形式の変更はできません。いったん、Mac OS 拡張でフォーマット後に、再フォーマットを行う場合などにご使用ください。

# 本製品搭載機能について

ここでは、本製品搭載の機能や接続形態に固有の機能について補足説明をいたします。  
参照したい項目をクリックしてください。

はじめに

シークレットドライブ機能について

省電力機能について

簡単アンプラグ機能について

CD ドライブ認識設定機能について

Macintoshでの起動ディスクの設定  
(IEEE1394 接続時のみ)

## はじめに

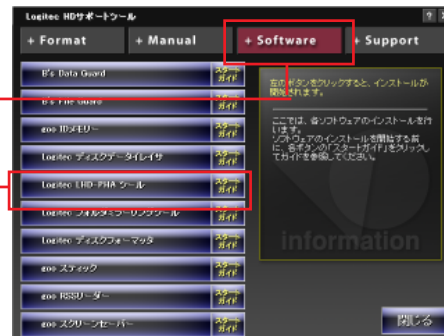
本製品搭載機能を使用するためには、はじめにユーティリティのインストールが必要です。  
以下の手順にしたがって、ユーティリティのインストールを行ってください。

本製品を接続し表示される「CD-ROM」アイコンをダブルクリックし、その中の「START.exe」をダブルクリックして表示される「Logitec HD サポートツール」の画面より、

「Software」タブを選択し、  
ソフトウェアの一覧から、「Logitec LHD-PHA ツール」のボタンをクリックしてください。

1. Software タブをダブルクリック

2. 「Logitec LHD-PHA ツール」  
ボタンをクリック



自動的にセットアップウィザードが起動しますので、この後はウィザードの指示に従ってインストールを進めてください。  
パソコン再起動後、タスクトレイに「PHA Manager」のアイコンが表示されます。



(本製品未接続時の表示)



(本製品接続時の表示)

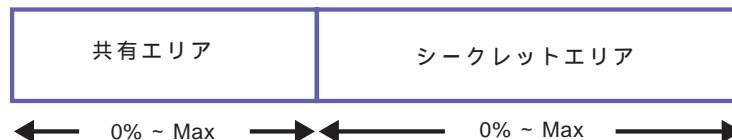
## シークレットドライブ機能について

### 概要

シークレットドライブ機能は、ハードディスクの一部エリアをパスワードによりロックし、第三者に見られないシークレットエリアを作成する機能です。この機能を使用することで、ビジネスとプライベートや機密情報と共有情報を1台のハードディスクで兼用することが可能となります。

### ハードディスクの領域設定

専用のユーティリティを使用することにより、ハードディスクの領域を自由に設定することが可能です。



### 共有エリアが100%の場合（シークレットエリアの設定なしの場合）

パソコンに接続すると、共有エリアが認識されます。

### シークレットエリアが100%の場合（共有エリアの設定なしの場合）

パソコンに接続すると、シークレットエリアが認識され、パスワード入力画面が表示されます。ここでパスワードを入力することにより、シークレットエリアにアクセスすることが可能となります。

### 共有エリアとシークレットエリアが混在した場合

パソコンに接続すると、共有エリアが認識されます。（この状態でシークレットエリアは認識されません。）シークレットエリアにアクセスするためには、製品本体上の「SECURITY」ボタンを押した状態でパソコンに接続を行います。この段階でシークレットエリアが認識され、パスワード入力画面が表示されます。ここでパスワードを入力することにより、シークレットエリアにアクセスすることが可能となります。（この状態で共有エリアは認識されません。）

### 対応OS

Windows XP , 2000

### ご注意：

Windows XP、2000の環境で使用する場合、システムを起動させて管理者権限をもつユーザー（例えば「コンピュータの管理者」等）としてログオンしてください。

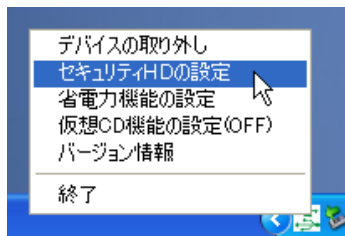


## シークレットエリア作成方法

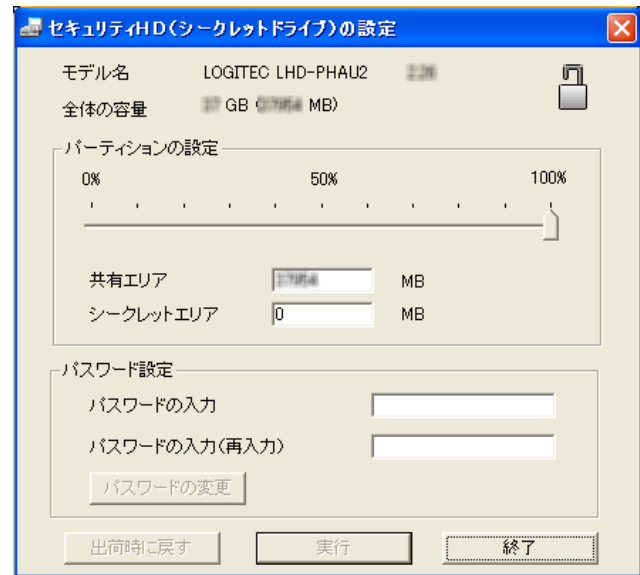
### 重要なご注意：

エリア設定を行うと、本製品内のデータは全て消去されますので、重要なデータは事前にバックアップを行ってから、本設定を実行してください。

本製品を接続した状態で、タスクトレイの「PHA Manager」アイコンを右クリックして、表示されるメニューから「セキュリティ HD の設定」をクリックしてください。



「セキュリティ HD (シークレットドライブ) の設定」ダイアログが表示されます。



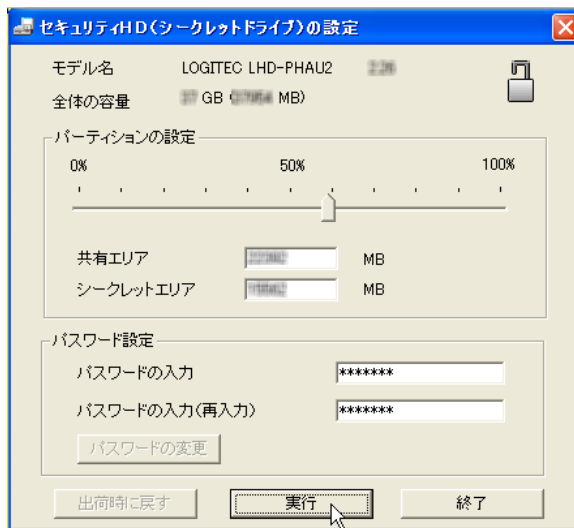
「パーティションの設定」欄のスライダーを使用して、「共有エリア」と「シークレットエリア」に割り当てる容量を指定してください。

次に、「パスワード設定」欄に、シークレットエリアにアクセスするためのパスワードを入力してください。

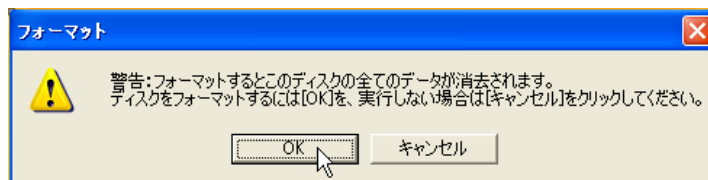
パスワードは半角英数字、4～12文字の範囲で入力してください。

「パスワードの入力」と「パスワードの入力(再入力)」の2箇所に入力してください。

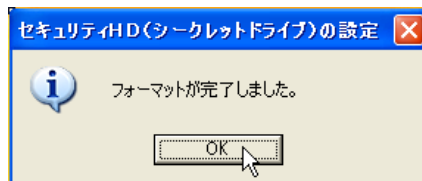
入力が完了したら、「実行」ボタンをクリックしてください。



確認のためのダイアログが表示されますので、メッセージ内容を確認いただき、エリア設定を実行する場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。



エリア設定作業が行われ、作業が完了すると、以下のダイアログが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。



自動的に本製品の取り外し処理が行われます。その後、「終了」ボタンをクリックして、本ユーティリティを終了してください。

本製品をパソコンから取り外してください。

- 以上でシークレットエリア作成は完了です。

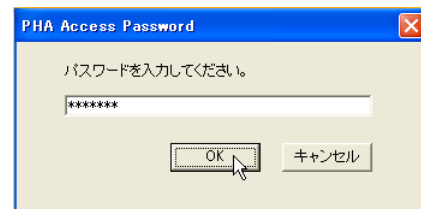
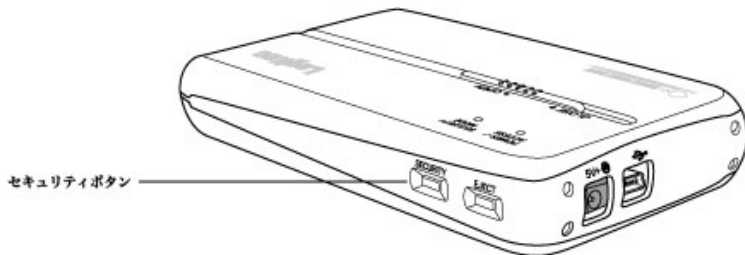
## シークレットエリアへのアクセス方法

本製品側面の「SECURITY」ボタンを押しながら、本製品をパソコンに接続してください。

補足：

シークレットエリアを「100%」で設定した場合には、「SECURITY」ボタンを押さずに接続してください。

本製品上の「SECURITY MODE」表示ランプが橙色に点灯し、「PHA Access Password」ダイアログが表示されますので、パスワードを入力して「OK」ボタンをクリックしてください。



パスワード認証が完了すると、「マイコンピュータ」上に「ハードディスク」アイコンが表示され、本製品へのアクセスが可能となります。

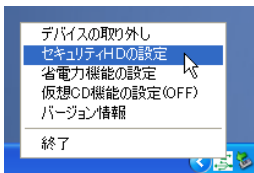
- Windows 2000 の場合、ここで「デバイスの取り外しの警告」のダイアログが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

補足：

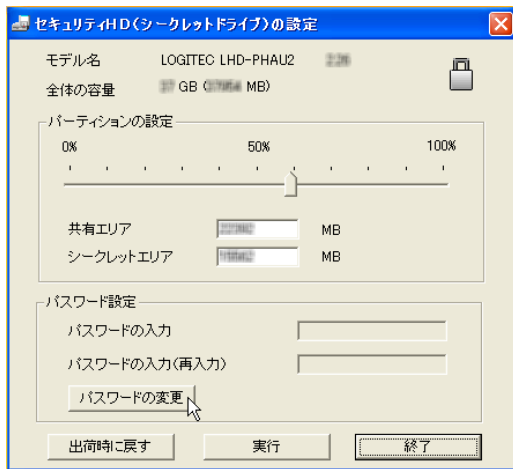
「共有エリア」と「シークレットエリア」が混在する場合、「SECURITY」ボタンを押さない状態で、本製品をパソコンに接続した場合は、「共有エリア」へのアクセスが可能です。

## 設定済みパスワードの変更方法

本製品を接続した状態で、タスクトレイの「PHA Manager」アイコンを右クリックして、表示されるメニューから「セキュリティHDの設定」をクリックしてください。

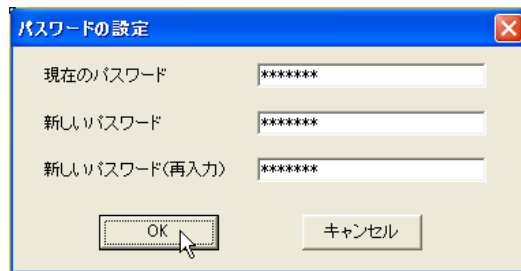


「セキュリティHD（シークレットドライブ）の設定」ダイアログが表示されますので、「パスワードの変更」ボタンをクリックしてください。

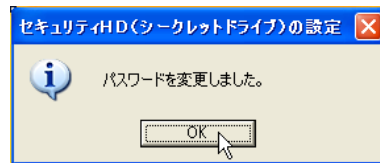


「パスワードの設定」のダイアログが表示されますので、パスワード入力を行い、「OK」ボタンをクリックしてください。

現在のパスワード：現在設定されているパスワードを入力  
新しいパスワード：新たに設定するパスワードを入力  
新しいパスワード（再入力）：新たに設定するパスワードを再入力



パスワード変更処理が行われ、処理が完了すると以下のダイアログが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。



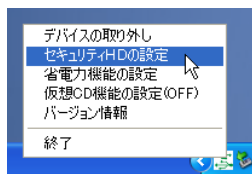
- 以上でパスワード変更は完了です。

## シークレットエリアの削除（出荷時状態へ戻す）方法

### 重要なご注意：

シークレットエリアの削除を行うと、本製品内のデータは全て消去されますので、重要なデータは事前にバックアップを行ってから、本設定を実行してください。

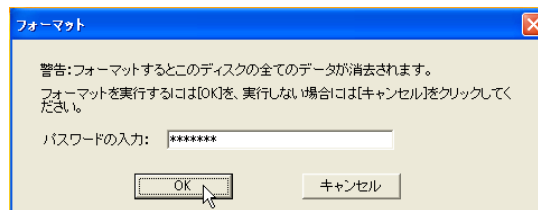
本製品を接続した状態で、タスクトレイの「PHA Manager」アイコンを右クリックして、表示されるメニューから「セキュリティHDの設定」をクリックしてください。



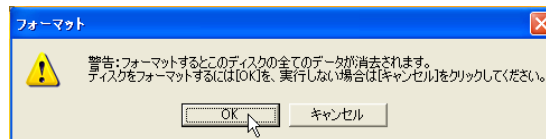
「セキュリティHD（シークレットドライブ）の設定」ダイアログが表示されますので、「出荷時に戻す」ボタンをクリックしてください。



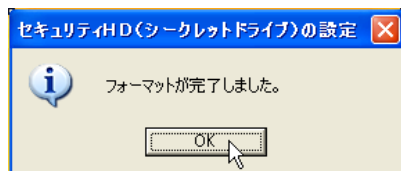
「フォーマット」のダイアログが表示されますので、設定済みのパスワードを入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。



再度、「フォーマット」のダイアログが表示されますので、メッセージを良くお読みになり、「OK」ボタンをクリックしてください。



フォーマット処理が行われ、処理が完了すると、以下のダイアログが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。



自動的に本製品の取り外し処理が行われます。その後、「終了」ボタンをクリックして、本ユーティリティを終了してください。

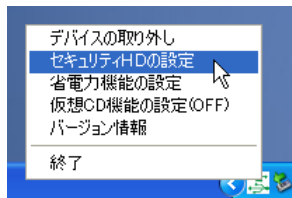
- 以上でシークレットエリアの削除（出荷時状態へ戻す）は完了です。

設定したパスワードを忘れてしまったときは・・・

**重要なご注意：**

万が一、設定したパスワードを忘れてしまった場合は、以下の方法でシークレットエリアの削除（出荷時状態へ戻す）を行うことが可能ですが、この場合、**本製品内のデータは完全に消去**されますので、パスワードの取り扱いには十分ご注意ください、ご使用ください。

本製品を接続した状態で、タスクトレイの「PHA Manager」アイコンを右クリックして、表示されるメニューから「セキュリティHDの設定」をクリックしてください。

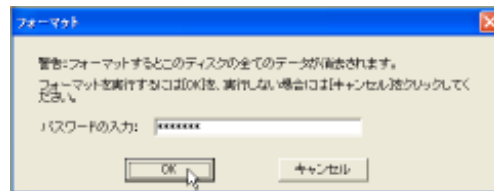


「セキュリティHD（シークレットドライブ）の設定」ダイアログが表示されますので、「出荷時に戻す」ボタンをクリックしてください。

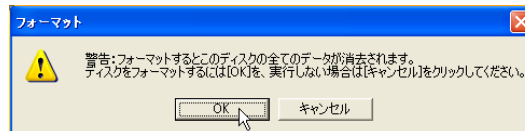


「フォーマット」のダイアログが表示されますので、以下のパスワードを入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

パスワード設定解除パスワード：LG9999051180070

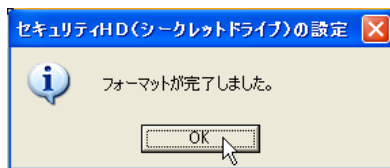


再度、「フォーマット」のダイアログが表示されますので、メッセージを良くお読みになり、「OK」ボタンをクリックしてください。





シークレットエリアのデータ完全消去、フォーマット処理が行われ、処理が完了すると、以下のダイアログが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。（シークレットエリアの設定容量により、処理時間が長くなります。）



自動的に本製品の取り外し処理が行われます。その後、「終了」ボタンをクリックして、本ユーティリティを終了してください。

- 以上でシークレットエリアの削除（出荷時状態へ戻す）は完了です。

## 省電力機能について

### 概要

待機時の消費電力を 50% 削減する省電力機能を搭載し、ノートパソコンのバッテリー消費を抑えることができます。

- ・ドライブの回転を停止することで、バスパワーで消費される消費電力を 50% 削減することが可能です。
- ・ドライブの回転を停止するまでの時間を自由に設定できます。
- ・設定内容は本製品が記憶しますので、他の環境に接続しても機能します。
- ・ドライブの回転が停止状態であっても、本製品にアクセスするとすぐに復帰します。

### 対応OS

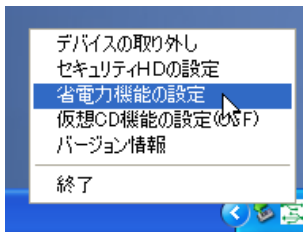
Windows XP , 2000

#### ご注意：

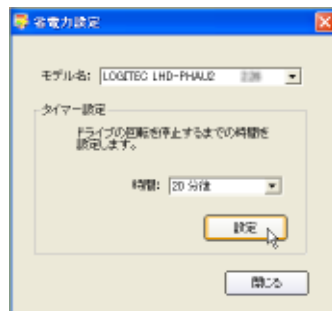
Windows XP、2000 の環境で使用する場合、システムを起動させて管理者権限をもつユーザー（例えば「コンピュータの管理者」等）としてログオンしてください。

### 設定方法

本製品を接続した状態で、タスクトレイの「PHA Manager」アイコンを右クリックして、表示されるメニューから「省電力機能の設定」をクリックしてください。



「省電力設定」のダイアログが表示されますので、「モデル名：」のプルダウンリストで本製品を選択し、「時間：」のプルダウンリストで、ドライブの回転を停止させるまでの時間を設定してください。



時間設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックしてください。

- 以上で設定は完了です。「閉じる」ボタンをクリックして本ユーティリティを終了してください。

本製品に対して読み書きがない状態で、設定された時間が経過すると、ドライブの回転が停止します。

- この状態で本製品の電源 / アクセス表示ランプは、一定間隔で「点滅（緑色）」を行います。

## 簡単アンプラグ機能について

### 概要

簡単アンプラグ機能は、本製品側面の「EJECT」ボタンの操作により、簡単に取り外し / 再接続（再認識）を行うことができる機能です。

### 対応OS

Windows XP , 2000

### ご注意：

Windows XP、2000 の環境で使用する場合、システムを起動させて管理者権限をもつユーザー（例えば「コンピュータの管理者」等）としてログオンしてください。

### 取り外し方法

本製品を接続した状態で、本製品側面の「EJECT」ボタンを押してください。



イジェクトボタン

自動的に取り外し処理が行われます。

タスクトレイ上の「PHA Manager」のアイコン表示が以下のように変化すれば取り外し処理完了です。



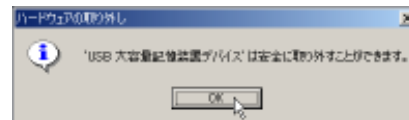
（接続状態の表示）



（取り外し処理完了後の表示）

### 補足：

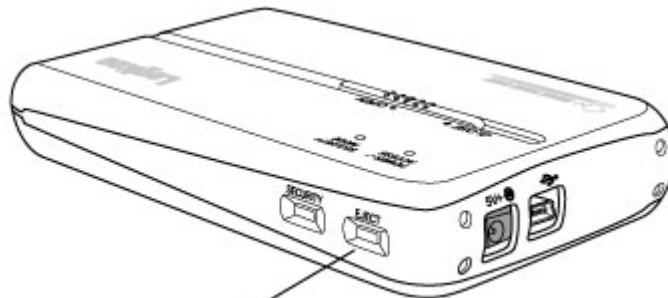
Windows 2000 の場合「ハードウェアの取り外し」のダイアログが表示されますので、「OK」をクリックしてください。



### 再接続（再認識）方法

本製品の取り外しを実行したあと、パソコンから本製品を取り外していない状態（ケーブル接続状態）であれば、以下の手順で本製品の再接続（再認識）を行うことができます。

本製品を接続した状態で、本製品側面の「EJECT」ボタンを押してください。



イジェクトボタン

「マイコンピュータ」に本製品のドライブアイコンが表示され、タスクトレイ上の「PHA Manager」のアイコン表示が以下のように変化すれば再接続（再認識）処理完了です。



（取り外し後の表示）



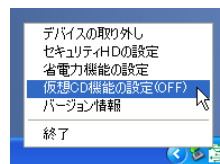
（再接続（再認識）完了状態の表示）

## CDドライブ認識設定機能について

本製品の付属ソフトウェアは、本製品内の「CD-ROM」ドライブに収録されていますが、通常、このCD-ROMドライブは、本製品を接続するたびに表示されます。このCD-ROMドライブ表示は必要に応じて、**表示する / しない**の設定を行うことが可能です。

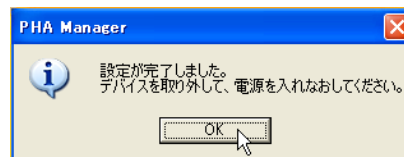
### 本製品のCD-ROMドライブを表示しない方法

本製品を接続した状態で、タスクトレイの「PHA Manager」アイコンを右クリックして、表示されるメニューから「仮想CD機能の設定 (OFF)」をクリックしてください。



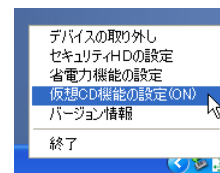
右のメッセージが表示されれば、設定完了です。

- 本製品をパソコンから取り外してください。  
再接続したときから本製品のCD-ROMドライブは表示されません。



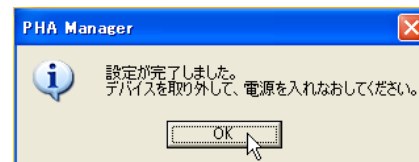
### 本製品のCD-ROMドライブを再表示する方法

本製品を接続した状態で、タスクトレイの「PHA Manager」アイコンを右クリックして、表示されるメニューから「仮想CD機能の設定 (ON)」をクリックしてください。



右のメッセージが表示されれば、設定完了です。

- 本製品をパソコンから取り外してください。  
再接続したときから本製品のCD-ROMドライブは再表示されます。



## Macintosh での起動ディスクの設定 (IEEE1394 接続時のみ)

Macintosh 環境で IEEE1394 接続にてご使用の場合、本製品を起動ディスクとして使用することができます。ここではその設定方法についてご説明いたします。

起動ディスクとして使用可能な OS

- ・Mac OS X 10.1 以降

Mac OS 9.1 ~ 9.2.2 までの環境で本製品を起動ディスクとして使用することはできません。

以下のモデルではパソコン側の仕様上の制限により起動ディスクに設定することができません。

- ・ Power Mac G4 (PCI Graphics)

以下のモデルで起動ディスクとして使用する場合、パソコン本体のファームウェアのバージョンを「2.4」以上にする必要があります。詳細は、アップルコンピュータ社の Web サイトをご参照ください。

- ・ iMac DV
- ・ Power Mac G4 (AGP Graphics)
- ・ PowerBook (FireWire)

## 設定方法

### Mac OS X の場合

アップルメニューから「システム環境設定」を選択し「起動ディスク」をダブルクリックして開いてください。

本製品のシステムフォルダをクリックして選択状態にして、「再起動」ボタンをクリックしてください。

### 注意事項

- ・ インストールの際は必ずハードディスクを Mac OS 拡張にてフォーマットしてください。本製品の出荷時フォーマットである「DOS」フォーマットや「Mac OS 標準」フォーマットではシステムが正しく起動しない場合があります。これらのフォーマットでの使用はサポート対象外とさせていただきます。
- ・ 本製品を起動ディスクに設定する場合は、必ず Mac OS X のインストール CD-ROM から本製品へシステムをインストールしてください。他の起動ディスクからシステムのコピーを行った場合、本製品を起動ディスクとしてご使用になれません。
- ・ システム起動中に絶対に IEEE1394 ケーブルまたは AC アダプタを抜かないでください。
- ・ 本製品からのシステム起動中はスリープ機能には対応いたしません。

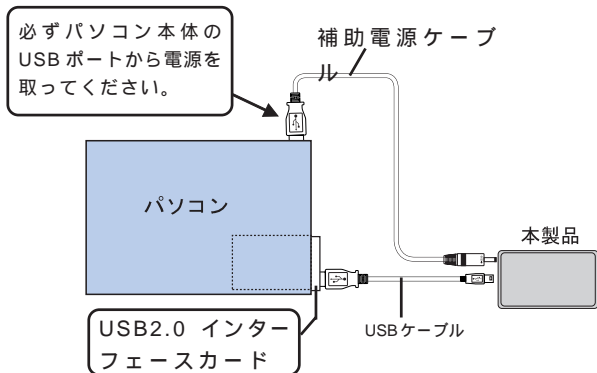


# USB 補助電源ケーブルを使用する際の注意点

付属の USB 補助電源ケーブルは USB 接続時に、バスパワー供給電力が足りない場合に、ご使用ください。  
USB 補助電源ケーブルを使用する場合は、下図のように接続してご使用ください。接続の際は必ず USB ケーブルを接続する前に、本製品に USB 補助電源ケーブルを接続してから、USB ケーブルで本製品とパソコンの接続を行ってください。

## 使用例 1 :

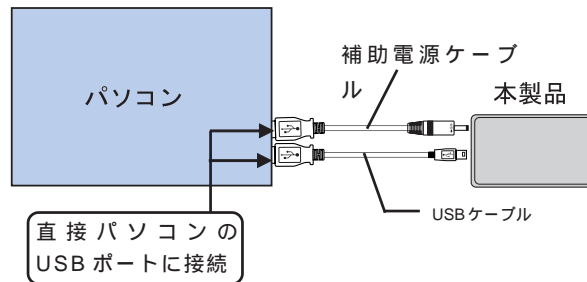
CardBus 対応の USB 2.0 インターフェースカードでバスパワー対応機器を使用する



補助電源ケーブルの DC プラグはバスパワー対応機器（本製品）側に接続してください。

## 使用例 2 :

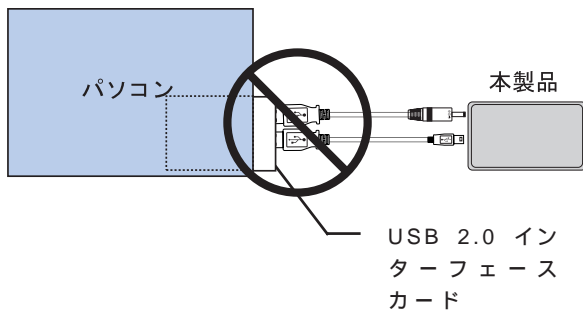
電源供給能力の低い USB ポートでバスパワー対応機器を使用する



次ページの注意事項もご参照ください！

## ⚠ 注意事項 1

Card Bus 対応の USB 2.0 インターフェースカードの USB ポートに本ケーブルを接続し、本ケーブルの DC プラグをバスパワー対応機器に接続するのはお止めください。十分な電源供給を受けられません。



このように接続してはいけません！

## ⚠ 注意事項 2

パソコンによっては、バッテリー駆動時に USB バスパワーの供給を行わない機種があり、本ケーブルを使用できない場合があります。その場合は別売の AC アダプタ (LA-12W5S-02) をお求めください。

## ⚠ 注意事項 3

セルフパワー動作時、バスパワー動作時共に、動作中の USB 補助電源ケーブルの抜き差しは絶対行わないで下さい。不要なりセットや動作異常を招き、データを消失する危険性があります。

## AC アダプタを使用する際の注意点

別売の AC アダプタを使用する場合は、必ずはじめに本製品に AC アダプタを接続し電源の供給を行ってから、USB ケーブルで本製品とパソコンの接続を行ってください。

はじめに AC アダプタを接続します。

付属の USB ケーブルで本製品とパソコンを接続します。

### 注意事項

セルフパワー動作時、バスパワー動作時共に、動作中の AC アダプタの抜き差しは絶対行わないでください。不要なリセットや動作異常を招き、データを消失する危険性があります。

本製品用の AC アダプタは以下の型番で弊社より販売されております。

型番： LA-12W5S-02

## 故障かな？と思ったら

**Q** 本製品を接続したが認識されない。

**A** ケーブルは正しく接続されていますか？  
パソコン側、本製品側共に正しく差し込まれているかを確認してください。

**A** 本製品をハブ経由で接続していませんか？  
その場合は、パソコンのポートに本製品だけを直接接続して試してみてください。  
ご使用の製品がバスパワー対応の場合、ハブから電源供給量だけでは、本製品が使用できない場合があります。また、USB接続の場合は、バッテリー駆動時にUSBポートからの電源供給を行わない機種もあります。



## 本製品を接続したが認識されない(続き)



**特定のOSで認識されない場合、フォーマット形式が、そのOSでは対応していない可能性があります。**

本製品を再フォーマットした場合、フォーマット形式が、ご使用のOSに合ったものであるかをご確認ください。

フォーマット形式 (ファイルシステム)	本製品の対応OSでの制限事項
NTFS	Windows XP、2000 で使用するためのフォーマット形式です。 Mac OS X 10.3 以降では読み込みのみサポートしています。 <b>Windows Me、98、Mac OS 9.1 ～ 9.2.2、Mac OS X 10.0.4 ～ 10.2.8 環境では認識されません。</b>
FAT 32	Windows 環境では全て認識されます。 Mac OS X 10.0.4 ～ 10.1.5では認識されません。 Mac OS X 10.2以降の場合、ハードディスクの容量が120 GBを超えると、容量制限の問題から認識されません。 Mac OS 9環境では、File Exchange が必要です。
HFS /HFS + (Mac OS 標準 /Mac OS 拡張)	Mac OS 専用のフォーマット形式です。 <b>Macintosh環境で、このフォーマット形式でフォーマットした場合、Windows環境では認識されなくなります。</b>

**Q** 本製品から、システム起動ができない。

**A** ご使用の OS および、接続形態をご確認ください。

本製品は Mac OS X 10.1 以降の環境で IEEE1394 接続時の場合以外は、システムを起動することはできません。また、上記の環境でご使用の場合も、起動ディスクに設定するには、いくつか条件がございます。詳しくは「Macintosh での起動ディスクの設定」をご参照ください。

**Q** Windows XP,2000 で「ディスクの管理」が起動できない。

**A** 管理者権限のあるユーザーとしてログオンしていますか？

「ディスクの管理」を起動するには、管理者権限を持つユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」）としてログオンしていなければなりません。

**Q** スリープ状態から復帰できない。

**A** パソコンのスリープ（サスペンド）状態の処理方法によりこのような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカーから供給されるアップデートプログラムなどによりこの現象を回避できる場合もあります。スリープ状態から復帰できない場合は、スリープ（サスペンド）機能を OFF にしてご使用ください。

**Q** 本製品の物理フォーマットができない。

**A** 本製品は物理フォーマットをサポートしていません。論理フォーマット（通常のフォーマット）のみでご使用ください。

**Q** USB接続時にデータの転送速度が遅い。

**A** USB 2.0 のポートに正しく接続されていますか。

USB 1.1 のポートに接続されている場合、データの転送速度は Full-Speed(12Mbps) までとなります。High-Speed (480Mbps) でデータ転送を行うには USB 2.0 ポートに接続してください。

パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合は別売りの USB 2.0 インターフェースボード (PCI 用インターフェースボード、もしくは CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード) をご使用ください。

# オプション品について

弊社ではインターフェースボードやケーブルなどを別売品として取り扱っております。オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求めください。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www.logitec-direct.jp>

## PCIバス用USB 2.0 インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA-USB2VA	PCI	インターフェースボード単体 Windows XP,Me,98,2000対応

## CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM-CBUSB2HB	CardBus	インターフェースカード単体 Windows,Mac OS X 10.3以降対応

## PCIバス用 IEEE1394 インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA-1394VA	PCI	インターフェースボード単体 Windows XP,Me,98SE,2000対応

## PCIバス用 IEEE1394 & USB2.0 インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA-FU2V	PCI	インターフェースボード単体 Windows XP,Me,98SE,2000対応



### USB 2.0 High-Speed 対応ケーブル

型番	長さ	備考
CB-USB2AMB-010	1.0m	シリーズA-mini B

### IEEE1394 ケーブル

型番	長さ	備考
CB-I66-021S	2.1m	6ピン-6ピン
CB-I66-011S	1.1m	
CB-I66-006S	0.6m	
CB-I64-021S	2.1m	6ピン-4ピン
CB-I64-011S	1.1m	
CB-I64-006S	0.6m	

# ハードウェア仕様

機種名		LHD-PHAU2シリーズ	LHD-PHAFU2シリーズ
インターフェース		USB 2.0 High-Speed (USB 1.1互換)	IEEE 1394 USB 2.0 High-Speed (USB 1.1互換)
ディスク回転数		5,400 rpm	5,400 rpm
最大データ転送速度 *1		480M bps (USB High-Speed) 12M bps (USB Full-Speed)	400M bps (IEEE 1394) 480M bps (USB High-Speed) 12M bps (USB Full-Speed)
コネクタ形状		USB mini-B	IEEE 1394 6ピン × 1 USB mini-B × 1
環境条件 *2	動作時	温度	5°C~35°C
		相対湿度	20%~80%
	保管時	温度	-20°C~50°C
		相対湿度	20%~80%
入力電圧		USB (USBポートより供給)	DC+5V (USBポートより供給)
		IEEE1394	DC+8V~+30V (IEEE1394ポートより供給)
消費電力(定格)		2.5W	5W
外形寸法(幅×奥行き×高さ)*3		84×138×22.5mm	84×138×22.5mm
質量		230 g	230 g

\*1 理論値

\*2 ただし結露なきこと

\*3 本体のみ

記憶容量については、製品のパッケージをご確認ください。

## 保証とサービスについて

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。  
保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

### サービスを依頼される場合

修理品については、弊社サービス窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。  
故障かどうか判断がつかない場合は、事前に下記弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

弊社サービス窓口およびテクニカルサポートの連絡先については、**次ページの「ユーザーサポート窓口のご案内」**をご参照ください

保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

保証期間終了後の修理につきましては、「テクニカルサポートセンター」までご連絡ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。(修理に代わって同等品と交換させていただく事があります)なお、補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)の最低保有期間は、製品終息後5年間です。

## ユーザーサポート窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

お問い合わせの際に次の ~ の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。

現在の状態（できるだけ詳しく）

製品の名称/シリアル番号（保証書に記載されています）

ご購入年月日、ご購入先

### テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8 2 6 8      ロジテック株式会社 テクニカルサポート

TEL. 0570-022-022      FAX. 0570-033-034

受付時間： 月曜日～金曜日 9：00～12：00、13：00～18：00（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、ひかり（光）電話（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）はご利用になれません。

郵送または宅配便にて修理依頼される場合のお願い

- ・ 送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・ 保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・ 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所/電話番号）」、「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・ 保証期間経過後の修理については、お見積りもりの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

### 修理品送付先

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック（株）修理サポートセンター（3番受入窓口）

TEL：0265-74-1423      FAX：0265-74-1403

受付時間： 月曜日～金曜日 9：00～12：00、13：00～17：00（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）